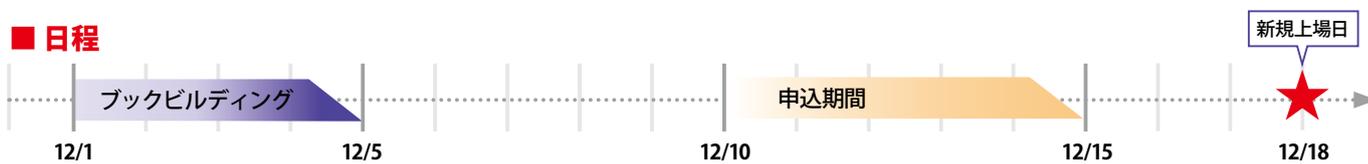


IPO銘柄 大冷 (2883・東証2部)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
2883	100株	公募: 70.00万株 売出: 80.00万株 (OA22.50万株)	1,700円~1,800円 (8.9倍)	三菱UFJモルガン・スタンレー証券

■ 日程



業務用冷凍食品を手掛ける「骨なし魚」のパイオニア

■ 事業内容

国内の医療・介護向けや弁当、仕出し向けを中心に、業務用冷凍食品の企画や販売を手掛ける。魚から骨を抜き取った「骨なし魚」のパイオニアとして有名であり、「骨なし魚」のシェアはトップ。主力商品は「楽しく骨なし日本さば」「楽しく骨なし秋さけ」など。商品製造は国内外の製造元に委託し、自社の工場を持たないファブレス方式でより効率的な生産体制を整える。商品の企画や開発自体は社内で行い、中国やベトナム、タイなど海外の協力工場では日本人の駐在員などの配置を義務付け、品質管理に注力。15年3月期第2四半期累計（14年4～9月）の売上高構成比は、骨なし魚事業が49.5%、魚の加工技術を応用したミート事業が9.6%、「かに玉グラタン」や「サンキューちくわ」を取り扱うその他事業が41.0%。

■ 特徴

「骨なし魚情報トレースシステム」により水産加工業界で随一のトレーサビリティシステムを完備。「骨なし魚」の加工技術に関して、5つの製造特許を取得しており、14年3月現在で35種類の魚を取り扱うなど、「骨なし魚」の種類も拡大中。加工技術の工夫により魚の生臭さを抑えた「楽しくクックシリーズ」、すり身の「楽しく旨味シリーズ」などの多様な加工品を揃えている点も特徴となっている。このほか、「骨なし魚」の加工技術を応用したミート事業、惣菜などの調理冷食も展開している。

アナリストコメント

■ 定量分析

15年3月期の非連結経常利益は前期比0.9%増の16億6,400万円を計画する。価格競争激化による収益力低下は懸念材料だが、1月に新たに特許登録を行うなど商品の差別化に向けた施策を行い、加工技術を生かした新商品の展開を図るなど、商品ラインアップ拡充に努めている。

■ 定性分析

初値買い人気の高まりづらい東証2部上場案件で、足元の業績成長率も横ばい圏。成長性重視のIPOマーケットでは目立ちづらい案件ではあるものの、高齢化社会の進展とともに需要の高まっていくビジネスを手掛けており、中長期的な成長余地は大きそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約31億円。東証2部上場案件ということもあり、やや荷もたれ感が意識される規模となっている。ベンチャーキャピタル保有株はないため、公開株式以外の株券は市場に流通しづらい構造となっている。(小泉健太)

■ 類似企業

大冷(2883・東証2部)	予想PER8.9倍 (仮条件上限)
尾家産業 (7481・東証1部)	予想PER16.9倍
横浜冷凍 (2874・東証1部)	予想PER16.2倍

■ 引受証券

三菱UFJモルガン・スタンレー証券、みずほ証券、SMBC日興証券、SMBCフレンド証券、丸三証券、エース証券、SBI証券、マネックス証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
13年3月期(実績)	26,042	3.1	1,422	10.8	848	99.6	167.9	50.0
14年3月期(実績)	26,341	1.1	1,649	16.0	896	5.7	168.9	50.0
15年3月期(会社予想)	26,650	1.2	1,664	0.9	1,115	24.4	202.5	50.0

※ 14年10月に株式分割(1株→2株)を実施。13年3月期、14年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
13年3月期	2,654,150	8,873	3,418	1,327	644.0	38.5	27.8
14年3月期	2,654,150	8,295	4,048	1,327	762.7	48.8	24.0

※ 13年3月期および14年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	フルタ	2,733,500	51.49
2	古田 耕司	1,000,000	18.84
3	中道 博志	400,000	7.54
4	齋藤 修	370,000	6.97
5	正林 淳生	160,000	3.01
6	西村 信義	84,400	1.59
7	大冷社員持株会	70,600	1.33
8	関 秀和	70,000	1.32
9	富田 史好	50,000	0.94
10	岩佐 成泰	44,000	0.83

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	齋藤 修
代表取締役副社長 経営企画室長	富田 史好
取締役副社長 営業統括本部長	西村 信義
専務取締役 商品統括本部長	正林 淳生
常務取締役 管理統括本部長	黒川 岳夫
監査役(常勤)	阿部 和行
監査役	川田 剛
監査役	大谷 悦夫

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会